

講座名：語学コース『中国語』 春学期

講 師：李 穎清 先生(国際人文学部国際交流学科 准教授)

開 講：2024年4月～7月 (計12回)

2024 年度春学期の市民未来大学語学コース（中国語）は、1 年生クラスと 2 年生クラスに分かれ、それぞれのクラスのレベルに応じた内容で授業を行いました。ここでは、両クラスの学習内容や受講者の様子についてご紹介します。

2 年生クラス

2 年生は、「趣味に関する雑談」、「旅行の計画」、「病院」といった場面で使う中国語の単語や表現を学び、以下のような目標を達成しました。

- 自分の興味のあることを相手に伝えられるようになる。
- 旅行の計画を立てられるようになる。
- 病院で自分の症状を伝えられるようになる。
- トラブルが発生した状況を相手に説明できるようになる。

受講生たちは、授業前の予習と授業後の復習をしっかりと行い、授業中には積極的に質問をする姿が見られました。また、学んだ単語や文法を応用し、自分たちで日常的な会話文を作成してペアで練習することで、学んだ知識を効果的に定着させようと前向きに取り組んでいました。さらに、中国料理店を訪れ、実際に中国語でコミュニケーションを取る経験を通じて、自分の中国語が相手に伝わった喜びを共有する場面もありました。

受講生たちは、中国文化への関心が高く、秋学期には中国語で日本と中国の昔話を読むことで、中国文化への理解をさらに深めてもらいたいと考えています。

1 年生クラス

1 年生クラスでは、春学期に中国語の発音（ピンイン・声調）をマスターし、自己紹介に関する表現を学びました。具体的には、下記のような目標を達成しました。

- 子音・母音・四声を正確に発音できるようになる。
- 自己紹介で名前を尋ねたり言ったりできるようになる。

- 国籍や出身地を言ったり尋ねたりできるようになる。
- 自分の家族や友達（名前・年齢・職業など）について紹介できるようになる。

授業の始めには毎回漢詩を読み、中国語のリズムに親しみながら発音練習を行なっています。受講者たちは教科書の内容をよく理解しており、習得の速さが際立っていました。授業中には積極的に話し合いながら会話を作り、発表する姿が見られ、モチベーションの高さが感じられました。

秋学期には、日常生活の場面の中国語会話を学習する予定です。

また、学期末には1年生と2年生が合同で中国人留学生との交流会を実施しました。この交流会では、留学生が中国の家庭料理（葱油餅、砂肝の炒めなど）を、日本人が日本料理（いなり寿司、ゴーヤチャンプルなど）を作りました。そして、料理を味わいながら会話を楽しみ、交流を深める機会となりました。今後も引き続き留学生との交流をしていく予定です。

【講義の様子】



【市民未来大学受講生と中国人留学生との交流会】

